

令和 7 年第 1 回教育委員会会議

1 日 時

令和 7 年 1 月 2 1 日 (金)

開会 1 0 時 0 0 分

閉会 1 0 時 3 5 分

2 場 所

県庁行政庁舎 1 7 階 教育委員会室

3 出席者

北野喜樹教育長、新屋長二郎委員、眞鍋知子委員、新家久司委員、高野勝委員、辻奈穂子委員

4 説明のため出席した職員

原敬教育次長、塩田憲司教育次長、金子俊一教育次長、北島公之教育次長兼学校指導課長、筒井諒太郎事務局課長、山本一彦庶務課長、高倉英明教職員課長、岩木智子生涯学習課長、池田正明文化財課長、瀬戸博邦保健体育課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第 1 号 文化財の県指定に係る石川県文化財保護審議会への諮問について
(原案可決)

議案第 2 号 令和 7 年度一般行政職員人事異動方針について (原案可決)

議案第 3 号 教職員の人事について (原案可決)

6 報告

報告第 1 号 令和 8 年度石川県公立学校教員採用候補者選考試験について

報告第 2 号 令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における石川県の結果概要について

7 審議の概要

・開会宣告

北野教育長が開会を告げる。

・会議の公開・非公開の決定

議案第 1 号は審議会の諮問予定案件のため、議案第 2 号及び議案第 3 号は人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項に基づき非公開とすることを全会一致で決定。

・質疑要旨

以下のとおり。

報告第1号 令和8年度石川県公立学校教員採用候補者選考試験について（高倉教職員課長説明）

報告第1号の「令和8年度石川県公立学校教員採用候補者選考試験の実施」につきまして、ご説明いたします。

まず、「1. 試験期日等」につきましては、出願受付を令和7年5月1日から30日とし、7月19日に筆記試験、7月20日に実技試験、8月2日または3日に、面接試験を実施いたします。

また、結果通知は、民間企業の内定式より早い、9月下旬を予定しております。

「2. 受験区分・募集教科」につきましては、4月中旬に発表する予定としております。

「3. 採用見込数」につきましては、5月1日の児童生徒数の確定等を踏まえて決定し、5月上旬にホームページ等で発表する予定としております。

「4. 受験資格」につきましては、多様な経験を持った人材を幅広く求めるため、採用時、60歳未満の者としております。

「5. その他」として、前年度との主な変更点につきましてご説明いたします。

「（1）特別選考『大学3年生を対象とした選考』の対象受験区分の拡大」につきましては、昨年度まで対象となっていた「小学校教諭等」「特別支援学校教諭等 小学部」に加え、新たに「中学校教諭等及び高等学校教諭等」「特別支援学校教諭等 中・高等部」を追加するものです。

「（2）実技試験を行う教科等の変更」につきましては、小学校教諭等の体育実技を廃止し、理科実技のみとし、中学校教諭等及び高等学校教諭等の福祉・看護も実技試験を廃止することとしました。

これら2点の対応により、受験者の負担が軽減され、早い段階から教員としての心構え、教員採用試験に向けた意識が高まり、優秀で熱意のある志願者の増加につながるものと期待しております。

「（3）加点对象の追加」につきましては、技術、家庭、福祉、情報における志願者数が近年減少し、必要人員の確保が難しくなっていることから、他教科の教員であっても、これらの教科を教えることのできる教員を一定数確保するために行うものであります。

「（4）特別選考『普通免許状を有しない受験者を対象とした選考』の対象教科の拡大」につきましては、技術及び福祉についても、近年、志願者数が減少していることから、より多くの志願者数を確保するために行うものであります。

これらの実施案内は、4月中旬より、県庁や教育事務所、市町教育委員会等で配布するとともに、県ホームページからダウンロードできるようにする予定としております。

【質疑】

（新屋委員）

小学校の実技試験の件ですけれども、以前は音楽とかもあったかなって思うんですけど、今年度から体育実技をやめて、理科だけ残すというのは何か意味があるんですか。どういう意図でしょうか。

（高倉教職員課長）

全国的にコロナ禍の中、実技試験を廃止する県が増えているところであります。そんな中で体育実技プール・水泳を行っていたのは、実は石川県のみで他県は全くない状態でありました。そんな中で、プール・水泳につきましては、初任者研修の中で水泳実習を行うということもありますので、教員になった後にしっかり安全確保してもらおうということで、廃止することに決めました。

理科実技につきましては本県の特徴でもあり、やはり教員になってから、理科の実験等で行う試験は必要じゃないかということで、残す方向でいます。

報告第2号 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における石川県の結果概要について（瀬戸保健体育課長説明）

報告第2号、

「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本県の結果概要」につきまして、ご報告いたします。

「1 調査の概要」の「（1）調査の目的」ですが、全国的な子供の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることに加え、教育委員会や学校においても、本調査結果を活用し、子供の体力や運動習慣等の状況を把握するとともに、課題に対応した施策の実施や体育・保健体育の授業等の充実・改善に役立てることとされ、昨年4月から7月にかけて、小学校第5学年、中学校第2学年の全児童生徒を対象とした、握力、上体起こしなど8種目の実技を調査するとともに、運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査を実施しました。

「2 調査の結果」の「（1）実技に関する調査の結果」については、「① 種目別の結果」について、各種目の平均値は、小学校男女及び中学校男子は、全ての種目で県平均が全国平均を上回っており、中学校女子は、上体起こし以外の種目で県平均が全国平均を上回りました。

次に、「② 体力合計点の結果」であります。

この体力合計点とは、各種目を10点満点で得点化したもので、8種目合計では、80点が満点になります。本県は、小・中学校の男女とも、県平均が全国平均を上回り、既に報道されているとおり、小学校の男子、女子ともに全国3位、中学校の男子、女子ともに全国4位となっております。

なお、体力合計点の全国平均は、小学校は男女ともに、昨年度を下回り、中学校は男女ともに昨年度を上回る結果となっており、本県においても同様に、小学校男女ともに昨年度を下回り、中学校男女ともに昨年度を上回りました。

国は、全国の結果について、体育の授業を除く運動時間が長い児童生徒ほど、体力合計点が高くなる傾向にあり、「質問紙調査」において、「運動は好き」と回答した児童生徒は、それ以外の児童生徒と比べ体力合計点が高いと分析しており、生活習慣や運動習慣に加えて、運動やスポーツに対する好意的な意識を形成する取り組みも有効と考えるとしております。

「（2）学校質問紙調査の結果」の中から、本県が、全国上位の結果を維持していることにつながったと思われる特徴的なものについてご説明いたします。

「前回の調査結果を踏まえた取組をしているか」という質問に対して、「取組をしている」と回答したのは、小学校では、77.7%と、全国の55.9%を21.8ポイント上回り、中学校では、68.1%と、全国の54.5%を13.6ポイント上回っております。

これは、本県独自の取組として、県内全ての公立小・中・高等学校において、前回の調査結果を踏まえ、自校の児童生徒の実態や課題を把握し、毎年、各学校で工夫を凝らして体力向上を図る「体力アップ1校1プラン」に取り組んでおり、例えば、

- ・持久力が弱い場合は体育の授業で走る機会を増やしたり、
- ・体の柔軟性が弱い場合はストレッチ運動を多く取り入れるなど、体育授業の工夫改善等に努めてきた

ことも、こうした結果につながったものと考えております。

このほか、全国上位を維持している要因として、小学校のクラス単位で長縄跳びやリレー、ボール投げなどの種目の記録をホームページに登録し、リアルタイムで県内のランキングが把握できる「スポチャレいしかわ」の取り組みなどを通して、仲間と運動する楽しさを感じながら、運動習慣づくりに努めてきたこと、そして、何より学校現場の教員や子供たちの日頃の努力が実を結んだものと考えております。

今後とも、「体力アップ1校1プラン」や「スポチャレいしかわ」などの体力向上の取組はもとより、運動やスポーツをすることが好きな子供たちの育成を目指した一層の体育授業の工夫・改善により、本県児童生徒の体力の向上に、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

なお、次のページに調査結果の過去5年間の推移を参考資料としてつけさせていただきます。

【質疑】

(辻委員)

質問ではないんですけれども、今の小学校高学年、中学生なんかはすごく姿勢の悪い子供が多い気がします。

それに伴って、中学の男子なんかも、うちの子も中学生なんですけど、授業参観なんかでもすごい猫背の子が多い気がします。

成長期に姿勢とか体幹ってすごく大事だと思いますので、こういう体力検査と同時に、そういった背中の状態とか体幹っていうのも少し数値化して、その個人の気づきのきっかけとして数値化してみてもいいのかなと思いました。

(瀬戸保健体育課長)

その辺り大学の先生とかの助言とかをいただきながらやっているものもありまして、その辺りについても、また今のご意見を参考に検討させていただきたいと思っております。

(眞鍋委員)

ここに出ているデータではないんですけれども、全市町で実施っていうことなんで、奥能登の被災地の小・中学生のデータを取ってらっしゃるかと思うんですけれども、被災してから3ヶ月から半年ぐらいの調査期間ということなんでそんなに差がまだ出てないのかもしれないんですけれども、子供の遊び場が非常に奥能登で減っているっていうこと、もちろん体育館とか運動場が使えなくなってるってこともあると思いますので、長期的に被災地の子供たちの体力の状況とそれ以外のところの子供たちとの比較等をしていく必要があるのではないかなと思うんですけれども、そこら辺はいかがでしょうか。

(瀬戸保健体育課長)

今のご指摘の通り1月に地震が起きまして、その調査は4月から5月なのでまだ数ヶ月しか経ってない状況の結果なので、これから今のご指摘のような形で推移をきちっと見ていかなければいけないなと思っております。ありがとうございます。

(高野委員)

直接関係ないかもしれませんが、過去5年間の中学生の持久走、それからシャトルランですか、それらの多くが全国平均の上をいっているんですけども、中学校の駅伝とか、それから全国駅伝とかあるんですけども、それに関してはこれでいくと全国平均より上なんだから真ん中ぐらいかなと思うんですけども、結果としていつも最下位の方に来ますよね。この持久走の結果と駅伝っていうのはあんまり関係ないんですかね。

(瀬戸保健体育課長)

この調査については、全生徒児童生徒を対象に行っているもので生徒の結果としては持久走としては高いっていうような数値が出ていると思いますが、駅伝になれば競技的なものもありますので、そのあたりの強化の部分があるのかなと思います。まだちょっとこちらでお答えはなかなかしにくいかなと思いますが。

(新屋委員)

一つだけ質問ですけれども、14ページの資料ですけど、前回の調査結果を踏まえた取り組みをしているかという問いに対しての「していない」というのが小学校で4.8、中学校で13.8、校数にする10校ぐらいだと思うんですけど、それは何か理由っていうのは聞いたりしているんですか。もうする必要がないくらい良いということなのか、あんまり学校全体でそういう事になってないのか。

その辺の分析ってあるんですか。

(瀬戸保健体育課長)

細かい分析とかはしていないんですけども、数字的には「していない」というものもあるということで、きちんと調べた上でやっていきたいと思います。

(新屋委員)

調査の目的の趣旨からして、何かその改善のためにやるっていうことだと思うので、パーフェクトっていうことはあんまり考えにくいですが、少しでも改良っていうか、改善すべき点があれば、そのようにしていけばいいんじゃないかなと思います。

(北野教育長)

以降の審議は非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第 1 号 文化財の県指定に係る石川県文化財保護審議会への諮問について

池田文化財課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第 2 号 令和 7 年度一般行政職員人事異動方針について

山本庶務課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第 3 号 教職員の人事について

高倉教職員課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

- ・ 閉会宣言

北野教育長が閉会を告げる。